

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成17年度(昭和38年度)	根拠法令・例規等	水道法
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 合 先 職・氏名 電話 0869-66-9794 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	基本計画	05	安全に暮らせるまち	
	小項目	施策	14	安全でおいしい水の安定供給	
事務事業名		01	水源管理事業		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内の上水道利用者	
目的(何のために)	安全でおいしい水を常に安定供給できるように、水資源の確保と水源施設の維持管理を行う。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	取水、浄水、送水施設等を適切に管理し、効率的な送水を行うことによって維持管理コストを低減する。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名	水源施設維持管理事業	常に安定した安全な飲料水を供給するために、取水・浄水・送水施設の効率的な維持管理を行う	◎
	水源保護審議会運営業務	水質を保護するとともに、きれいな水を市民が享受する権利を守るため審議会を開催する	○	
	岡山県広域水道企業団運営経費等負担金	岡山県広域水道企業団運営負担金	○	
	吉井川坂根堰管理負担金	吉井川坂根堰利水者協議会への会費	○	
	吉井川坂根堰利水者協議会会費	吉井川坂根堰利水者協議会への会費	○	
	吉井川下流水利用連絡協議会会費	吉井川下流水利用連絡協議会への会費	○	
	八塔寺川ダム管理費等負担金	八塔寺川ダム管理費負担金	○	

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	68,316	72,493	75,160
	必要人員	人	1.17人	1.51人	1.71人
	費用	千円	11,350	14,765	16,128
	事業費計	千円	79,666	87,258	91,288
	国県支出金	千円			
受 益 者 負 担	千円	79,666	87,258	91,939	
財 源	千円				
繰 入 金	千円				
市 債	千円				
そ 他 ( )	千円				
一 般 財 源	千円			-651	
受 益 者 負 担 比 率	%	100.0%	100.0%	100.7%	

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	説明	水1m <sup>3</sup> に対する動力費(坂根・長船・吉永水源地)		
	対前年比	%	6,315,069	6,281,141	6,201,278
	対前年比	%	-	99.5%	98.7%
	活動コスト	円	48,333,412	50,380,066	52,861,497
単位当たりコスト	円	7.65	8.02	8.52	

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
夜間時間の電力使用率(%)(坂根浄水場)	成果指標名	目標値(A)	45	46	50	58
		実績値(B)	45.1	45.6	55.5	到達目標値
		達成率(B/A)	100.22%	99.13%	111.00%	60

ピーク電力の発生する時間帯の負荷を他の時間帯へ移行することにより、ピーク電力を低減することで、電力料金の削減を図ります。また、負荷移行を夜間時間帯に行うことで、安価な夜間時間帯料金により、電力量料金・CO<sub>2</sub>排出量も削減することが可能となります。(夜間電力量/使用電力量)

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある	
		<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	B
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	
		<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	
		<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
		<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		説明	水道水源の確保は重要な課題であります。浄水場の維持管理と安全衛生管理に配慮しつつ、運転管理の効率化につとめる必要がある。						

総合評価		総合評価
水質基準に適合した安全な水道水を市民に供給するためには、安定的な水源の確保が重用です。また、浄水施設を常に適切に維持管理し、施設の効率的な運転管理に努めている。		B

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	説明	方向性	水道水源の確保については今後も重要な課題であります。浄水場の維持管理と安全衛生管理に配慮しつつ、引き続き効率的な運転管理に努めてゆく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな